



ハネウエルの サプライヤ 行動憲章

Honeywell

目次

ハネウェルのサプライヤ行動憲章.....	3
労働と人権.....	4
公正な待遇.....	4
強制労働と人身売買の禁止.....	4
児童労働の禁止.....	5
賃金と福利厚生.....	5
結社の自由.....	5
下請け業者のコンプライアンス.....	5
健康と安全.....	6
労働安全.....	6
緊急時即応準備.....	6
業務上の傷病.....	6
衛生、食料、住居.....	6
環境.....	7
誠実性とコンプライアンス.....	8
帳簿と記録.....	8
ビジネス インテグリティ.....	8
利益相反.....	8
知的財産の保護.....	8
薬物乱用.....	8
責任ある鉱物調達.....	9
品質.....	9
プライバシー、情報セキュリティ、およびサイバー セキュリティ.....	9
貿易管理.....	9
管理システム.....	10
懸念の報告.....	11

ハネウェルの サプライヤ行動憲章

ハネウェルは、あらゆる面で誠実性とコンプライアンスに真剣に取り組んでいます。そのコミットメントの一環として、ハネウェルはサプライヤの皆様は、従業員に安全な環境を提供すること、尊厳と尊重の念を持って従業員に接すること、健全で持続可能な製造プロセスを実施すること、ビジネスを展開しているすべての国のあらゆる適用法令を遵守することを求めます。サプライヤには、従業員と管理者がオープンに意思疎通し、報復、強迫、またはハラスメントを恐れることなく懸念を報告できる文化を育てていただきたいと考えています。

ハネウェルのサプライヤ行動憲章（以下「サプライヤ憲章」）は、グローバル サプライ チェーンにおける誠実性とコンプライアンスに対するハネウェルのコミットメントを明記しています。ハネウェルはすべてのサプライヤに、サプライヤ憲章を遵守すること、そしてそのサプライ チェーンにおいてサプライヤ憲章の要件を確実に満たすことを求めます。ハネウェルは、サプライヤ憲章の遵守状況を確認するために、通知の有無にかかわらず、サプライヤの施設に訪問する（または外部の監査者を訪問させる）ことがあります。要請があった場合、サプライヤは、ハネウェルがサプライヤ憲章の遵守を評価するために合理的に必要な、あらゆる情報をハネウェルに提供するものとします。サプライヤ憲章に定められた要件の遵守は、調達に関する意思決定を行う際に考慮されます。サプライヤ憲章の遵守を怠ると、ハネウェルのサプライヤとして認められなくなるほか、訴訟につながるおそれもあります。

労働 と人権

ハネウェルは、グローバル オペレーションとサプライ チェーンにおける人権と職場の権利のサポートにコミットしています。このコミットメントは、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」、「国連グローバル コンパクトの 10 原則」、「労働における基本的原則及び権利に関する ILO 宣言」など、独立機関が提案した人権に関する国際的な原則とすべての適用法令に基づく、当社の[人権に関する方針](#)に反映されています。ハネウェルは、人権へのコミットメントを示すことをサプライヤに求めます。これらのコミットメントに対する違反の可能性があれば、誰でも[ハネウェルの ACCESS インテグリティ ヘルプライン](#)を通じて報告できます。

公正な待遇

サプライヤは、ハラスメントや不当な差別のない職場の実現に全力で取り組むものとします。「ハラスメント」には、従業員に対する過酷な扱い、非人道的な扱い、性的嫌がらせ、性的虐待、体罰、精神的強要、身体的強要、暴言、および会社の施設設備への出入りの不合理な禁止などの行為、またはこうした行為の示唆により脅迫することを含みます（これらに限定されません）。

強制労働と人身売買の禁止

サプライヤは、人身売買を行ったり、奴隷、強制労働、拘束労働、年季契約労働、非自発的な囚人労働を使用したりしてはなりません。これには、脅迫、強制、強要、誘拐、詐欺によって、または搾取を目的とする管理者への支払いによって、人員を輸送、収容、勧誘、または受領することが含まれます。



人身売買を禁止するこのコミットメントの一環として、サプライヤは次のいずれにも関与してはなりません。

- 身分証明書または入国書類の破棄、隠蔽、または没収
- 詐欺的な採用方法の使用
- 従業員に不合理な採用手数料を課したり、現地の基準、法律、および指令に適合しない住宅を提供したりすること

児童労働の禁止

児童労働は厳しく禁じられています。サプライヤは子供を雇用してはなりません。雇用または就労の最低年齢は、16 歳、その国の最低就業年齢、またはその国の義務教育終了年齢のうちいずれか高い方とします。本サプライヤ憲章は、正当かつ合法的な見習いプログラムへの参加を禁止しません。

賃金と福利厚生

サプライヤは、全従業員に対し、適用される法規制が定める最低賃金以上を支払い、法的に義務付けられている福利厚生を提供するものとします。さらに、サプライヤは、最長労働時間に関するすべての適用法規制を遵守し、時間外労働については、適用法規制によって求められる以上の割増率で計算された対価を労働者に支払うものとします。



結社の自由

サプライヤは、従業員が有する、合法的な組織に参加する権利または参加しない権利を認識し、尊重するものとします。サプライヤは、自己の従業員が、労働者代表を選出する権利、組合に参加する権利、業務に従事する多くの場所において団体交渉する権利を有していることを認識するものとします。サプライヤは、十分な情報に基づいて強制されることなく労働者代表に関する選択をする従業員の権利を尊重するものとします。サプライヤの従業員が労働者代表を選出している場合、サプライヤは、自己の各従業員に対する自らの確約を継続的に果たし

ながら、当該代表との間でビジネスに焦点を当てた良好な関係を構築するよう努めるものとします。

下請け業者のコンプライアンス

サプライヤは、サプライヤの施設における業務遂行のために下請け業者が提供した労働者を、本サプライヤ憲章に定める方針に基づいて処遇するものとします。

健康 と安全

サプライヤは、健康、安全、環境に関して適用されるすべての法規制を遵守するものとします。サプライヤは、自社の健康と安全に関するプログラムを通じて次のことに取り組む必要があります。

労働安全

サプライヤは、従業員の安全衛生の確保に全力で取り組み、従業員が業務活動を開始する前に必要な研修を修了したこと確認するものとします。サプライヤは、文書化された安全衛生プログラムを設置するか、安全衛生プログラムに登録する必要があります。サプライヤは、適用されるすべての基準や規制に従って、適切な方法（設計管理、エンジニアリングコントロール、組織管理的コントロール、予防保守、研修、作業手順、適切な個人用保護具など）を用いて、従業員が危険にさらされる可能性に対処し、管理する責任があります。

緊急時即応準備

サプライヤは、緊急時即応準備、避難方法、報告および通知、研修および訓練、適切な危険検知および抑制装置、サプライヤ施設からの適切な避難設備に関し、適用されるすべての法規制に従って緊急時計画と対応手順を策定しておくものとします。

業務上の傷病

サプライヤは、業務上の傷病および従業員の化学的、生物学的、物理的薬剤への曝露を管理、追跡、報告する手順とシステムを設置するものとします。これらの手順とシステムは、(i) 従業員による報告の促進、(ii) 傷病の分類と記録、(iii) 傷病の調査、(iv) 是正措置の実施の4つに関する該当の規定を含め、適用されるすべての法規制に従うものとします。

衛生、食料、住居

サプライヤは従業員に清潔なトイレ設備および飲料水を提供するものとし、キッチン設備および食品貯蔵設備を提供する場合は、それらを衛生的に保つものとします。サプライヤまたは第三者が提供する社員寮は、許容可能な生活条件を満たすものでなければなりません。当該施設は、清潔かつ安全であり、適切な非常口、適切な暖房・換気設備、妥当な個人用スペース、および合理的な入出権限を提供するものとします。

環境

ハネウェルは、サプライヤが環境責任を自らの事業運営に統合し、地域、環境、および天然資源に対する悪影響を最小限に抑えながら、労働者および公衆の安全衛生を確保することを期待します。また、サプライヤは事業の実施にあたり、健康、安全、環境に関する適用されるすべての法規制を遵守するものとします。例として、サプライヤは次を実施するものとします。

- 環境に関する必要な許可証および登録証を取得、更新する
- 排水、廃棄物、汚染物を発生源で低減、管理、排除する
- 揮発性物質、腐食性物質、微粒子、エアロゾル、燃烧生成物の大気放出を低減、管理、排除する
- 適切な表示および警告の要件に従う
- 法令に従って危険物質の識別、管理、保管、移動、取扱いを行う
- 事業運営、施設、およびサプライチェーンにおける温室効果ガスの排出量を把握し、軽減するために、自らの規模およびリソースに応じて適切なプログラムを維持する



誠実性 とコンプライアンス

帳簿と記録

サプライヤは、正確な帳簿と記録を作成および維持するものとし、記録の内容を変更して取引の隠蔽や改ざんを行うことを一切禁止します。商取引の証拠として作成または受領したすべての記録は、その形式に関わらず、記録されたその取引または事象を完全かつ正確に示すものでなければなりません。記録が現在のビジネス実施において不要になった場合も、適用される法律上の保管要件に基づいて記録を保管する必要があります。

ビジネス インテグリティ

サプライヤは、適用される腐敗行為防止法を含め、該当するすべての法域の法規制に従うものとし、サプライヤは、商業賄賂や違法なリベートを要求、供与、受領してはなりません。また、そのような不適切な行為と受け取られないように注意して活動する必要があります。サプライヤは、腐敗行為に関与することなくビジネスを実施するものとし、不正な取引慣行によって他者を

利用してはいけません。つまり、サプライヤはその製品やサービスの品質、機能、入手可能性について不正確な情報を伝えてはなりません。また、サプライヤは会社の記録管理について整合性、透明性、正確性を維持することに同意するものとし、ます。

利益相反

サプライヤは、ハネウェルの評判を守り、すべての利益相反と、利益相反の可能性があると見なされる状況を避ける必要があります。利益相反に該当する状況は、通常、個人的な利害が、サプライヤの業務やサービスを公平に実施する能力を妨害する場合、または妨害すると思われる場合に生じます。実際に利益相反が生じた場合、または利益相反が生じる可能性がある場合、サプライヤはハネウェルに通知する必要があります。これには、サプライヤやその従業員の利害とハネウェルの利害が対立する可能性のある状況、または明らかに対立する状況が含まれます。

知的財産の保護

サプライヤは知的財産権を尊重し、専有情報を保護するものとし、ます。技術およびノウハウの移転は、知的財産権を保護する方法で行うものとし、ます。

薬物乱用

サプライヤは、従業員がアルコールや違法薬物の摂取、または処方薬もしくは市販薬の乱用により、その影響が残っている状態で職務に当たることを禁止する方針および手順を整備するものとし、ます。さらに、サプライヤは、従業員が業務中あるいは勤務時間中に違法薬物やアルコールを摂取、所持、譲渡、販売することを禁止し、処方薬や市販薬を乱用するのを防ぐ方針および手順を導入するものとし、ます。

責任ある鉱物調達

サプライヤは、サプライヤの製造製品に含まれるタンタル、錫、タングステン、および金に関して、経済協力機構 (OECD) の「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライ チェーンのためのデューデリジェンス ガイダンス」または同等の広く認められているデューデリジェンス フレームワークと一致する方法で調達していることを合理的に保証するために、これらの鉱物の調達先と加工流通過程の管理に関する方針を採用し、デュー デリジェンスを実施する必要があります。

品質

サプライヤは、適用される品質基準に作業生産物の品質が確実に適合するよう、十分な注意を払うものとします。サプライヤは、欠陥の特定、是正措置の実施、契約上の品質要件を満たすまたは上回る製品の提供を目的とした品質保証プロセスを設置するものとします。

サプライヤは、偽造部品や材料が製品に使用されるリスクを最小限に抑えるために、製品に適した方法およびプロセスを開発、導入、維持するものとします。偽造部品や材料を検出し、保証している場合は偽造部品や材料を含む製品の受領者に通知

し、納品された製品からそれらの製品を排除できるように、効果的なプロセスを導入する必要があります。

プライバシー、情報セキュリティ、およびサイバーセキュリティ

サプライヤは、事業活動におけるすべての関係者 (サプライヤ、顧客、消費者、従業員を含む) の個人情報プライバシーに関する合理的な期待の保護に取り組まなければなりません。サプライヤは、機密情報および専有情報 (個人情報、他者の機密情報および専有情報を含む) について、適切な物理的および電子的なセキュリティ手順を使用して、不正なアクセス、破壊、使用、変更、および開示から保護するものとします。サプライヤは、個人情報の収集、保管、処理、送信、および共有を行う場合、適用されるプライバシーおよび情報セキュリティに関する法規制の要件を遵守するものとします。サプライヤは、自らの情報技術 (IT) システムおよび運用技術 (OT) システムへの不正アクセスおよび当該システムの中断を回避するために、これらのシステムの保護に取り組まなければなりません。ま

た、自らの顧客、従業員、消費者、およびサプライヤの利益を保護するために自らの資産を保護するものとします。

貿易管理

サプライヤは、輸入管理規制、輸出管理規制、貿易制裁など、国際貿易の取り締まりに関して適用されるすべての法規制を遵守するものとします。

サプライヤは、ハネウエルに供給するすべての品目それぞれについて、輸出分類と HTS (Harmonized Tariff Schedule) コード、およびサプライヤの受益権に関する情報を把握し、要請があった場合はハネウエルに対して提供するものとします。サプライヤは、ハネウエルから自らに提供されるすべての品目の輸出分類を理解し、適切な管理を通じて、許可されていないアクセスからそれらの品目を保護する必要があります。サプライヤは、ハネウエルから書面による明確な許可を得ることなく、ハネウエルの技術情報をいずれの第三者にも移転しないものとします。



管理 システム

サプライヤは、本サプライヤ憲章に定められる方針を遵守するための管理システムを採用および導入するものとします。管理システムは、サプライヤのビジネスの規模や範囲、リスクによって異なります。管理システムは、以下を実現するように設計する必要があります。(a) 適用される法律、規制、および顧客要件の遵守 (b) 本サプライヤ憲章の遵守 (c) リスクの低減 (d) 管理システムの改善を追跡、測定、推進するプロセスの実装

管理システムには、少なくとも以下の要素が組み込まれている必要があります。

- **組織コミットメントと経営責任：**管理システムの確実な導入の責任を負う会社の代表者を明確にする方針表明を通じて、コンプライアンスに対するサプライヤのコミットメントを宣言するもの
- **リスク評価とリスク管理のプロセス：**サプライヤの業務や第三者の関与に関連するリスクを特定するための、適正および監視要件を含むプロセス。規制は常に変化しており、新しい規制も制定されるため、サプライヤの管理システムには、サプライヤの業務や顧客の業務に影響する可能性のある、環境、禁止物質の使用、紛争鉱物、有害廃棄物、貿易制限に関する（ただし、これらに限定されない）規制に関連する活動を監視および追跡するプロセスを含める必要があります。

- **研修プログラム：**サプライヤの方針、手順、改善目標を社員が実行に移せるように管理者および従業員向けに行う研修
- **基準、監査、評価：**法規制の要件、サプライヤ憲章の内容、および顧客との契約上の要件を遵守するためのもの
- **是正措置のプロセス：**内部または外部の評価、検査、調査、レビューで特定された欠陥を速やかに修正するためのプロセス
- **文書と記録：**本サプライヤ憲章の原則を遵守していることを確認するための記録物
- **サプライヤ憲章の要件をサプライヤに通達し、遵守状況を監視するプロセス**

懸念の 報告

サプライヤには、本サプライヤ憲章の違反に関係する可能性がある状況に気が付いた場合、それを報告する責任があります。本サプライヤ憲章の遵守を怠ると、ハネウエルのサプライヤとして認められなくなるほか、訴訟につながるおそれもあるため注意が必要です。

懸念事項は、以下の方法でハネウエルの ACCESS インTEGRITY ヘルプラインに報告できます。

電話 : 800-237-5982

電子メール : access.integrity.help@honeywell.com

ハネウエルは、法律、会社方針に則り、徹底的な調査の実施を目的として、すべての報告を可能な限り秘密裏に扱います。すべての報告は、適用される法令に従い直ちにかつ徹底的に調査され、ハネウエル法務部の助言や承認を経て関係当局へ報告されます。



Honeywell International

855 S Mint Street,
Charlotte, NC 28202

800-582-4263

www.honeywell.com

2023 年 4 月

© 2023 Honeywell International Inc.

Honeywell